



2025年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月14日

上場会社名 株式会社EduLab 上場取引所 東
コード番号 4427 URL <https://www.edulab-inc.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 廣實 学
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 川瀬 晴夫 TEL 03 (6635) 3101
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第3四半期の連結業績（2024年10月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第3四半期	4,450	△18.6	187	—	152	—	101	—
2024年9月期第3四半期	5,468	3.1	△258	—	△118	—	△178	—

(注) 包括利益 2025年9月期第3四半期 79百万円 (—%) 2024年9月期第3四半期 △269百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第3四半期	9.97	—
2024年9月期第3四半期	△17.42	—

(注) 2024年9月期第3四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。2025年9月期第3四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第3四半期	3,400	1,862	42.3
2024年9月期	3,644	1,767	37.3

(参考) 自己資本 2025年9月期第3四半期 1,438百万円 2024年9月期 1,360百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年9月期	—	0.00	—		
2025年9月期（予想）				—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末における配当予想額は未定であります。

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

通期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
	6,000	△16.0	230	－	160	－	△50	－	△4.89

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社、除外 ー社

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）				
① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期3Q	10,228,470株	2024年9月期	10,228,470株
② 期末自己株式数	2025年9月期3Q	8,504株	2024年9月期	8,504株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年9月期3Q	10,219,966株	2024年9月期3Q	10,220,699株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループの経営成績は、売上高4,450,459千円(前年同期比18.6%減)、営業利益187,046千円(前年同期は営業損失258,541千円)、経常利益152,625千円(前年同期は経常損失118,178千円)、親会社株主に帰属する四半期純利益101,972千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失178,058千円)となり、前年同期比で増益となりました。

売上高に関しましては、2024年9月期に撤退した教育プラットフォーム事業における減収の影響や、2024年9月期に単独の委託機関として中学校事業を受託しました文部科学省による全国学力・学習状況調査を、2025年9月期には再委託機関として小学校事業を受託するなどの受託形態の変化等により、売上高は前年同期比で減少しました。一方、テストセンター事業及びAI事業は堅調に推移しました。その結果、売上高は、前年同期比18.6%の減少となりました。

費用面では、業務委託費や人件費の削減等により売上原価、販売費及び一般管理費が減少し、営業利益は増益となりました。また、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、円高の進行により、為替差益が第2四半期連結累計期間より減少し、利益が減少しているものの、当期の営業利益の増益等により、前年同期比では増益となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

① テスト等ライセンス事業

テスト等ライセンス事業においては、オンライン英語テスト「CASEC」および英語スピーキングテストにかかわるライセンス収入が減少したこと、さらに一部サービスの終了に伴う減収等の影響により、当該セグメントの売上高は544,586千円(前年同期比26.1%減)、セグメント利益は167,469千円(前年同期比9.7%減)となりました。

② テストセンター事業

テストセンター事業においては、テストセンター利用者数が安定して推移し、当該セグメントの売上高は2,228,275千円(前年同期比0.0%減)、販管費が増加したことにより、セグメント利益は181,367千円(前年同期比15.3%減)となりました。

③ AI事業

AI事業においては、手書き文字認識「DEEP READ」ライセンス収入が安定して推移しました。また「UGUIS.AI」を2025年4月に正式リリースしましたが、当会計期間の影響は軽微の予定です。以上の結果、当該セグメントの売上高は183,744千円(前年同期比69.3%増)、セグメント利益は46,237千円(前年同期はセグメント損失49,145千円)となりました。

④ テスト運営・受託事業

テスト運営・受託事業においては、前事業年度に単独で委託機関として中学校事業を受託した文部科学省による全国学力・学習状況調査を、当事業年度は再委託機関として小学校事業を受託しました。以上の受託形態の変化の結果、売上高は減収となった一方で、業務の内製化によるコスト削減等により、利益額、利益率ともに大幅に改善しました。当該セグメントの売上高は1,163,017千円(前年同期比40.7%減)、セグメント利益は316,998千円(前年同期比64.2%増)となりました。

⑤ その他事業

当社グループは、2024年3月に教育プラットフォーム事業から撤退したことにより減収となりましたが、サービスを継続した広告事業は順調に推移しました。当該セグメントの売上高は330,834千円(前年同期比23.8%減)、セグメント利益41,378千円(前年同期はセグメント損失62,133千円)となりました。

(当事業年度よりセグメント事業名を「プラットフォーム事業」から「その他事業」に変更しています。)

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて429,561千円減少し、2,552,192千円となりました。これは、現金及び預金が126,523千円の減少、売掛金及び契約資産が267,301千円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて186,922千円増加し、848,307千円となりました。これは、ソフトウェアが127,162千円、ソフトウェア仮勘定が41,603千円増加したことなどによります。

繰延資産は、前連結会計年度末に比べ1,210千円減少し、4千円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて243,849千円減少し、3,400,504千円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて277,811千円減少し、1,384,201千円となりました。これは、買掛金49,108千円、短期借入金66,800千円増加した一方で、1年内返済予定の長期借入金が195,807千円、特別調査費用引当金が237,770千円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて61,239千円減少し、153,837千円となりました。これは、長期借入金が60,303千円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて339,051千円減少し、1,538,039千円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて95,201千円増加し、1,862,465千円となりました。これは、当期の期間利益により、利益剰余金が101,972千円増加したことなどによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、概ね計画通りに推移しており、2025年5月14日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,671,435	1,544,912
売掛金及び契約資産	907,814	640,513
未収法人税等	196,910	153,043
仕掛品	21,347	22,829
その他	184,245	190,894
流動資産合計	2,981,753	2,552,192
固定資産		
有形固定資産	141,150	152,231
無形固定資産		
ソフトウェア	0	127,162
ソフトウェア仮勘定	19,301	60,905
その他	0	0
無形固定資産合計	19,301	188,067
投資その他の資産	500,933	508,008
固定資産合計	661,385	848,307
繰延資産	1,214	4
資産合計	3,644,354	3,400,504
負債の部		
流動負債		
買掛金	185,282	234,390
短期借入金	100,000	166,800
1年内償還予定の社債	35,900	—
1年内返済予定の長期借入金	310,029	114,222
契約負債	81,356	91,768
賞与引当金	55,505	27,910
受注損失引当金	910	910
特別調査費用引当金	237,770	—
訴訟関連費用引当金	279,086	235,424
事業構造改革引当金	32,000	13,595
その他	344,174	499,180
流動負債合計	1,662,013	1,384,201
固定負債		
長期借入金	210,496	150,193
その他	4,580	3,644
固定負債合計	215,077	153,837
負債合計	1,877,090	1,538,039

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,000	90,000
資本剰余金	1,589,861	1,589,861
利益剰余金	△116,684	△14,712
自己株式	△19,953	△19,953
株主資本合計	1,543,223	1,645,195
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,203	2,203
為替換算調整勘定	△184,846	△208,546
その他の包括利益累計額合計	△182,643	△206,342
非支配株主持分	406,683	423,612
純資産合計	1,767,263	1,862,465
負債純資産合計	3,644,354	3,400,504

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
売上高	5,468,441	4,450,459
売上原価	4,156,411	3,032,037
売上総利益	1,312,029	1,418,421
販売費及び一般管理費	1,570,571	1,231,375
営業利益又は営業損失(△)	△258,541	187,046
営業外収益		
受取利息	22,681	2,821
受取配当金	28,327	1,089
為替差益	157,644	16,128
事業撤退益	86,496	—
保険金収入	—	30,248
その他	21,083	4,482
営業外収益合計	316,233	54,770
営業外費用		
支払利息	12,716	7,037
投資事業組合管理費	129,709	52,135
貸倒損失	—	23,426
その他	33,443	6,591
営業外費用合計	175,869	89,190
経常利益又は経常損失(△)	△118,178	152,625
特別利益		
投資有価証券売却益	—	13,582
特別利益合計	—	13,582
特別損失		
訴訟関連損失	43,572	—
その他	2,759	—
特別損失合計	46,332	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△164,510	166,207
法人税等	12,552	61,152
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△177,063	105,055
非支配株主に帰属する四半期純利益	995	3,082
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△178,058	101,972

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△177,063	105,055
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,721	—
為替換算調整勘定	△80,936	△25,973
その他の包括利益合計	△92,658	△25,973
四半期包括利益	△269,721	79,081
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△249,315	75,089
非支配株主に係る四半期包括利益	△20,406	3,991

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前四半期連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益または税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント						調整額 （注）1	四半期 連結損益 計算書 計上額 （注）2
	テスト等 ライセンス 事業	テスト センター 事業	AI事業	テスト運営 ・受託事業	その他事業	計		
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	736,824	2,228,628	108,550	1,960,189	434,248	5,468,441	—	5,468,441
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	736,824	2,228,628	108,550	1,960,189	434,248	5,468,441	—	5,468,441
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	736,824	2,228,628	108,550	1,960,189	434,248	5,468,441	—	5,468,441
セグメント利益又は 損失（△）	185,511	214,136	△49,145	193,072	△62,133	481,442	△739,984	△258,541

（注）1. セグメント利益又は損失（△）の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失（△）は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	テスト等 ライセンス 事業	テスト センター 事業	AI事業	テスト運営 ・受託事業	その他事業	計		
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	544,586	2,228,275	183,744	1,163,017	330,834	4,450,459	—	4,450,459
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	544,586	2,228,275	183,744	1,163,017	330,834	4,450,459	—	4,450,459
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	544,586	2,228,275	183,744	1,163,017	330,834	4,450,459	—	4,450,459
セグメント利益又は 損失（△）	167,469	181,367	46,237	316,998	41,378	753,452	△566,405	187,046

（注）1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（報告セグメント区分の変更）

当社グループは、2024年3月に「教育プラットフォーム事業」から撤退しました。サービスを継続した広告事業につきましては、第1四半期連結会計期間より、「その他事業」に区分変更をしております。

また、第1四半期連結会計期間から業績管理区分の見直しにより、従来「AI事業」に含まれていた事業の一部を「テスト等ライセンス事業」に移管しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の測定方法、区分方法に基づき作成したものを開示しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	19,779千円	18,094千円
のれんの償却額	51,708	—

（重要な後発事象）

該当事項はありません。